

ハビリス

宮崎県身体障害者相談センター

(高次脳機能障がい総合相談・支援拠点機関)

〒880-0032 宮崎市霧島1丁目1-2

TEL : (0985) 29-2556(代)

FAX : (0985) 31-3553

<https://www.shinsyocenter-miyazaki.com>



ハビリスの名は、リハビリテーションの語源である、ラテン語の、re(再び)+habilis(適した、ふさわしい)+ation(状態にする)から採ったものです。

目次

★身体障害者相談センター相談窓口

高次脳機能障がい特集

★高次脳機能障がい者通所教室「結」について

★高次脳機能障がいパネル展示のお知らせ～県内公共図書館巡回展～

★「高次脳機能障がい」Web研修会のご案内

★みやざき高次脳機能障がい家族会あかりのご紹介

身体障害者相談センター 相談窓口

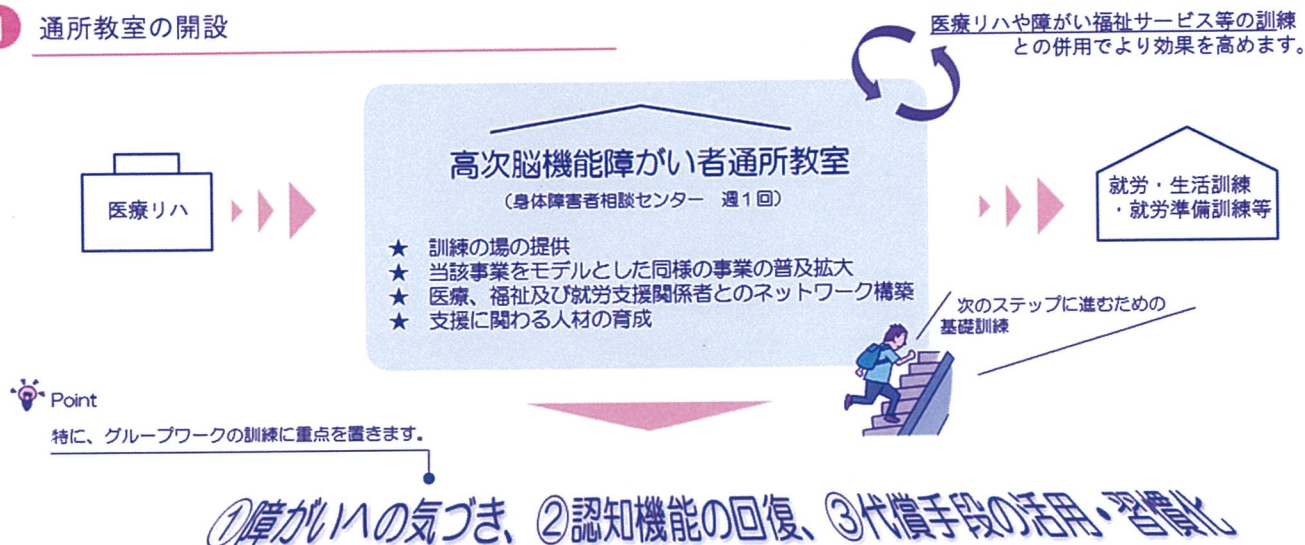
身体障害者相談センターは身体障害者福祉法に基づく身体障害者更生相談所として、身体に障がいのある方が、補装具や更生医療、身体障害者手帳の交付などの福祉サービスを受けられるよう相談・支援を行っています。また、高次脳機能障がい総合相談・支援拠点機関として、高次脳機能障がいに関する相談支援を行っています。

相談窓口	ひとつこと	電話番号	スタッフ
身体障害者手帳	身体障害者手帳の認定や障害の状況に関することについてのお問い合わせにお答えします。 新規申請や再認定、居住地変更や手帳返還等についてはお住まいの市町村福祉課へおたずね下さい。	(0985) 29-2556	社会福祉士等 身体障害者手帳担当
高次脳機能障がい相談	頭のケガや脳の病気の後、以前との違いやいろいろな症状にお悩み方の相談に助言を行います。		高次脳機能障がい 支援コーディネーター 臨床心理士
リハビリテーション訪問相談	リハビリテーション専門職が施設等を訪問し、補装具に関する相談やリハビリテーションに関する技術的支援等を行います。		理学療法士 作業療法士
ひだまり ～聴こえとことばの相談～	聴こえやことばについて心配をお持ちの方を対象に心理相談や言語相談、簡単な聴力検査などを行いアドバイスを行います。		医師 看護師 言語聴覚士 臨床心理士

高次脳機能障がい者通所教室「結」について

身体障害者相談センターでは、高次脳機能障がいを持つ方が自己の障がいについて学び社会参加に必要な知識や技能を訓練することで、自立や社会参加を促すことを目的として、高次脳機能障がい者通所教室「結」を開催しています。見学をご希望の方は下記へお問い合わせください。

1 通所教室の開設



2 期待される2次的効果

- ・ 県民への周知の促進になる。
- ・ 医療、福祉及び就労支援関係者に認知され、相談や連携の機会が増える。
- ・ 他の地域や施設等が同様の取組を始めるに当たってのモデルとなる。
- ・ 訓練ノウハウの蓄積により、支援者への助言や実践的な研修が行える。

<お問い合わせ> 身体障害者相談センター 担当：安藤 0985-29-2556

プログラム内容は
「講義(ワークショップ)」と
「実習」に分かれています!

講義(ワークショップ)

脳と高次脳機能障がいについて
リハビリテーションと福祉サービスについて
注意について
記憶について
遂行機能について
感情、情緒について
コミュニケーションについて



実習

革細工/パソコン
調理/屋外活動



日付	内容	形態	場所	日付	内容	形態	場所
8/18	開所式・オリエンテーション			11/17	遂行機能について	講義	宮崎県総合保健センター
8/25	自己紹介・革細工	実習		11/24			
9/1	脳と高次脳機能障がいについて	講義	宮崎県総合保健センター	12/1	調理活動	実習	
9/8	リハと福祉サービスについて	講義					
9/15	注意について	講義					
9/22							
9/29	パソコン	実習	宮崎保健福祉専門学校	1/12	感情・情緒について	講義	
10/6				コミュニケーションについて			
10/13							
10/20	記憶について	講義	宮崎県総合保健センター	2/2	屋外活動	実習	
10/27				未定			
11/10	記憶の代償手段	実習		2/16	屋外活動・閉所式		未定 宮崎県総合保健センター

高次脳機能障がいパネル展示のお知らせ

～県内公共図書館巡回展～

宮崎県民の皆様を高次脳機能障がいについて知っていただくため、県内の公共図書館の協力を得て啓発パネルの展示を行っています。

今後の展示予定

展示場所：日南市立図書館(本館)

展示期間：令和5年1月18日～1月29日

展示名：ご存じですか、「高次脳機能障がい」
～頭のケガや病気の後から起こる後遺症～

令和4年度上半期 ご協力いただいた図書館

日南市南郷図書館

門川町立図書館

宮崎市佐土原図書館

美郷町立北郷図書館

日南市南郷図書館 高次脳機能障がいパネル展の様子(R4.6.7～R4.6.27)



一緒に展示していただいた日南市立南郷図書館蔵書の一部です

- ・脳損傷のリハビリテーション高次脳機能障害支援 病院から在宅へ～ / 医歯薬出版
- ・脳は回復する 高次脳機能障害からの脱出 / 新潮社
- ・ふたたび楽しく生きていくためのメッセージ / クリエイツかもがわ
- ・子どもたちの高次脳機能障害 理解と対応 / 三輪書店
- ・壊れかけた記憶、持続する自我「やっかいな友人」としての高次脳機能障害 / 中央法規出版

「高次脳機能障がい」Web研修会のご案内

日時 令和5年1月22日(日) 13時～16時(入室12時から)

講演1 高次脳機能障がいの方への教育的アプローチについて(仮)

講師 京都光華女子大学 健康科学部 医療福祉学科 言語聴覚専攻
教授 上田 敬太氏

講演2 高次脳機能障がいの支援者養成テキストの動画配信による研修

- ① 講義 高次脳機能障害の診断・評価
講師 東北大学大学院 医学系研究科 高次脳機能障害学
教授 鈴木 匡子氏
- ② 演習 障害特性の理解 診断・評価の体験
講師 国立障害者リハビリテーションセンター
顧問 深津 玲子氏

*講演2は、国立障害者リハビリテーションセンターが開発中の支援者養成テキストの動画配信による研修です。②の演習動画は、利用者の方の行動等の疑問に関して誰もが簡単に評価を試行できる内容になっています。

参加には「お申し込み」が必要です。案内は12月頃を予定しています。

<お問い合わせ> 身体障害者相談センター 担当：黒木 0985-29-2556

みやざき高次脳機能障がい家族会あかりのご紹介

高次脳機能障がいは外見から理解されにくいことから「見えない障がい」とも言われます。そのため社会生活でいろいろな困難が生じて、周囲から理解してもらえないことがあります。家族会は当事者や家族同士が交流して、悩みを語り合い情報を交換する場となっています。また、身体障害者相談センターとともに、高次脳機能障がいに関する学習会を毎月行っています。参加のお問い合わせは下記まで。

学習会

毎月第3土曜日午後
(8月及び12月を除く)

場所

身体障害者相談センター
リハビリテーション交流室

お問い合わせ

みやざき高次脳機能障がい家族会あかり

連絡先

☎ 090-6421-1192

✉ akari.kazokukai@ymobile.ne.jp

